



社協 伴 東

発行 伴東学区社会福祉協議会 (☎ 849-0375) 編集 広報部会

安全・安心な町づくりを目指して
～早めの避難を心掛けて～



近年、全国各地で気象の変化が大きく、伴東学区では8月14日伴東八丁目の大原台北側斜面で土砂崩れが発生しました。幸いにも家屋や通学路の被害や人的被害はありませんでした。土砂災害警戒情報が発令された際は、家族・親戚や地域内の皆さんに声を掛け合い、早めに近くの避難場所や安全な場所に避難しましょう。

告知

第5回伴東学区 グラウンドゴルフ大会

日時：令和3年11月23日(祝)
8時(受付開始)～14時終了
場所：伴東小学校グラウンド
雨天中止
主催：伴東学区社会福祉協議会

『沼田地区いきいき連 グラウンドゴルフ大会』

本来であれば九月九日に予定されていましたが、緊急事態宣言下のため十月十三日に開催されました。沼田運動公園にて参加者89名、18チームがABCの3コートを回って行われ、上位7名が表彰されました。
最高位1名は広島市の大会に参加されます。



コロナ禍で迎えた敬老の日々

新型コロナウイルス流行下で2度目の敬老の日を迎えました。今年度も各町内会・自治会とも敬老会は開催されませんでした。皆さん元気にお過ごしです。

松宗町内会

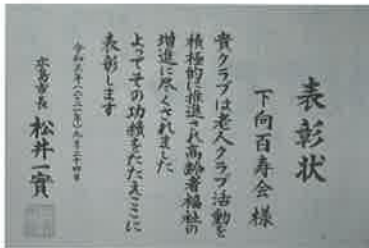
枝廣幹夫さんは、山あり谷ありの人生を乗り越え、今年無事に米寿を迎えられ、健康の為、家庭菜園や公園でグラウンドゴルフを楽しまれています。残り少ない人生を日々奥様と共に感謝しながら過ごしていこうと思っておられます。

下地町内会



今年米寿を迎えられた小林利子さんは、毎日ラジオ体操に行くことから一日がスタート。毎週水曜日の百歳体操、月一回のいきいきサロンに参加されたり、野菜を育てられたり、外に出ることを心掛けられています。お元気な笑顔の秘訣は、人と話をし、どなたにでも挨拶をすることのようです。

下向町内会



このたびは下向百寿会は、老人クラブ活動を積極的に推進され、高齢者福祉の増進に尽くされたことよってその功績をたたきここに表彰します。松井一貴

瀬戸内ハイツ自治会

寺田勝征さんは、43年前から瀬戸内ハイツに居住し、ソフトボールの公認審判員の資格を取得し、伴地区ソフトボールリーグの発足と共に、団地として、ナイターリーグに参加しました。チームメイトや伴・大塚・戸山地区のチームの戦士たちとも親睦を深めました。

当初、40世帯ほどだった世帯数も次第に増え、自治会の行事も増えていきました。老朽化のため建て替えになった自治会館の天井裏を整理した時、玉入れの籠や、綱引きの綱を見つけると、団地内の狭い公園で子どもから大人まで参加した運動会で、我が区を必死に応援したこと、自治会を皆で盛り上げたことを思い出しました。最近では、自治会を退会する人もいると聞き、寂しい気持ちになるそうです。「コロナが終息し、以前の様に、マスクを着けることなく出歩ける日が来ることを信じて、皆とともに頑張ろう。私も幸せにして夫婦で八十路を歩むことが出来た。終着駅も近いが、もう少し二人して頑張ってみようと思う。」

大原台町内会

例年敬老の日の祝賀会を公民会で盛大に開催していたのですが、最近のコロナ禍で行事は中止とし、対象者659人に記念品を贈りました。

喜寿(77歳)、米寿(88歳)、白寿(99歳)の方には、記念品を贈呈しました。ご高齢の方は、米寿10名、白寿1名、100歳以上の方は3名おられます。



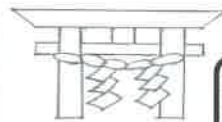
<各町内会・自治会の敬老祝賀対象者推移表>

年度	R元年	R2年	R3年
大原台	598	627	659
松宗	113	122	128
下向	104	105	114
サーパス沼田	7	8	13
下地	107	110	120
瀬戸内ハイツ	233	237	260
ヴェルディ大原駅前	2	0	-
ヴェルディ大原駅前フェリス	-	0	3

※75歳以上 (単位: 名)

伴東学区の秋祭り

今年もコロナ禍における感染防止対策により様々な行事が中止となる中、当地区における神社では神事が行われています。



金比羅神社 (大原台)

神社神殿床部と手前側の空地に準備した携帯椅子に大原地区と大原台町内会の幹部が着席し、10月2日 18時丁度から神事が行われました。神主さんのお祓いをうけ、祭礼をした後に、祝詞を拝聴して18時30分に神事を終了しました。

菅原神社 (下地)

9月12日(日)に、今年度も神社関係者及び町内会役員が10名ほど参加し、神事のみが行われました。



松峯河内神社 (松宗)

10月16日(日)18時から、岡崎神社の権禰宜様により神事のみが厳かに執り行われました。参加者22人のうち、神殿には12人が座り、あとは外に立って行われました。



関の地藏尊法要 及び

正一位稻荷大明神 (下向)

今年は盆踊り大会はない年の為、8月21日専念寺様の法要を役員のみに参加で行いました。



10月2日秋祭りの巫女舞、神楽など多彩な演芸で盛り上げる予定でしたが、コロナ禍に加え、通学路側壁で境内の石垣が緩み、崩落の危険があり工事で中止となりました。

祭りは10月3日 岡崎神社の宮司様による神事のみを役員の参加で行いました。石垣の修復は地区民の寄付と、他地区、企業のご支援により今月中には完成の予定です。

伴東小学校 稲刈り実習



10月19日今年の稲刈り収穫体験が、6月2日に田植えを体験させていただいた松宗の森川(森川石油店)さんの田園で実施されました。

5年生児童55名とJA技師2名に下向から9名が



指導・応援に参加し1時間30分で無事終了。今年には幸いにも被害獣の被害も少なく安定して行いました。水田も殆どなく体験学習の為、連日管理を続けられた森川様に感謝あるのみです。

伴東小学校運動会



10月9日(土)に、延期となっていた伴東小運動会が開催されました。昨年度同様2学年ごとの分散開催でしたが、子どもたちはかけっこや踊りなど、頑張っている姿を披露しました。

伴中学校体育祭

6月の予定でしたが、10月21日(木)に全校生徒が対抗リレーなど九種目に全力で取り組みました。観客は、3年生の家族一名に案内状が ok されました。開会式、閉会式は各教室へテレビ放送されました。



歴史探訪～石碑編～
〈松宗戦没者慰霊碑〉

ゆめマート西側を火山に向けていく道の左側に「松宗戦没者慰霊碑」はある。終戦後39年たった昭和59年10月、田中源三(大正3年生まれ91歳没)が、私財を投じ建立した。父は2度戦地に赴き辛うじて生き帰った。この碑建立を思い立つには長く苦しい思いと諸々の痛みがあったと聞いている。当時、松宗地区は戸数30軒たらず。その内、支那事変(日中戦争)2人、大東亜戦争(太平洋戦争)11人、動員学徒2人、満州開拓団2人の死没者名が刻印。社会全体の日常は塗炭の生活

だった。戦争は過去の物語ではなく、まぎれもなく身近な現実にあつたという伝承と鎮魂が強く伝わる。長年の盆灯籠作りの奉仕もその思いだったのだろう。戦後76年を生きてきた私達は、この碑の字面から、もしその立場が自分だったら、もし戦争がなかったらと深く考えやすがとしたい。尚、近くに「鶏魂碑」もある。(長女 光井信子記)



善意銀行へのご寄付
 まごころに感謝

▼香典返しにかえて

(令和3年4月～6月)
 (寄付者)芳名 (死没者)芳名
 大原台 角井輝子(夫) 洵

伴東社協の福祉活動が成り立っていますのは、皆さまの善意と奉仕の真心のおかげと感謝申し上げます。

受賞おめでとうございます

■広島市長表彰(敬称略)

民生委員・児童委員として10年に亘り地域社会の福祉に貢献された功績が認められました。



山根 セイコ(下地)

赤い羽根共同募金
運動期間中です。
 令和3年10月1日
 ～12月31日



ビオトープ
松宗堤の整備

「堤の会」

代表 脇田正昭

火山の麓にある松宗の堤は、この地域では一番大きな溜池で、1999



年の6・29豪雨災害の後、水を抜き放置されて人が入れないジャングルのような状態でした。ここを整備しようと2014年に「堤の会」を立ち上げ、地域の人々の協力を得ながら、土手の草木を切り取り、桜の木を植え、内部へと整備を進めてきました。昨年からは、現在高校1年の須貝君も参加してくれています。ビオトープにしよう



と、2020年から池を作り、現在、カエルオタマジヤクシ、イモリ、トンボのヤゴ、ヘビなどが、池の内外で見られるようになりました。

編集後記

山の木々は次々と色を織りなし、空の青さが一段と冴えています。コロナの猛威も少し落ち着き、高齢者の皆様も、健やかに過ごされているようです。このまま、穏やかな日々が続きますように祈るばかりです。